



## 2017年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

学校長  
印鑑省略

<b>学校評価項目</b>	<p><b>【学校創立の原点】</b>  <b>設立趣意書より抜粋</b>                  エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。</p> <p><b>設置趣意書より抜粋</b>                  また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。</p>	<p><b>教育理念とは</b>                  三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心                  三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性                  三学：自学、究学、徹学の態度</p> <p><b>教育方針とは</b>                  1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心の育成                  1. 共鳴、共感、共働（協働）の感性の育成                  1. 自学、究学、徹学の態度の育成</p>	<p><b>【中期基本方針（2015～2017）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。</li> <li>2. 生き残りをかけて、学科を再編し、経営の安定、自立を目指す。</li> </ol>
---------------	---	--	--

分担	学校評価・項目	推進項目		具体的な推進計画内容	到達目標（期待される成果）
		No.	No.		
共通	④学修成果	1	退学者の削減	1 各部門で実施	目標：昨年実績以下 チャレンジ目標：退学者ゼロ
	⑧財務	2	経費削減・ムダの排除	1 各部門での徹底した合理化・効率化	予算目標の達成
	②学校運営	3	「職業実践専門課程」の定着化	1 各部門で実施	各種仕組みの精査、定着化を実施する。
	②学校運営	4	学校評価の向上	1 各部門で実施	前年度評価点以上を目指す。
	⑥教育環境⑧財務	5	南校舎統合	1 各部門で実施	2018年度で統合完了する。
	②学校運営⑥教育環境⑨法令等の遵守	6	違法対応・安全衛生管理環境活動の強化	1 各部門で実施	問題を発生させない。
教務部	③教育活動	1	「5年後10年後に会社になくてはならない人材」を目指した育成	1 基礎学力を身に付けさせる 2 人間力を向上させる	前年度の課題を明確にし、習熟度別クラス、エプソン特進クラスの成果を実感する。学科長およびホームルーム担当としての学生の学習状況の把握とフォローアップを行う。 グループワークによる課題解決を通じて、チームワークを体験学習する授業を全学科にて導入する。課題への継続的な取り組みを通じて、目標達成を体験させる。
		2	教える力の向上(どうやって身に付けさせるか)	1 自分の専門領域を広げる、深堀りする 2 教える力を磨く・鍛える	独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善を行う。 常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える。授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる。
	③教育活動	1	コース、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	1 学生会を中心とした活動を支援。学生間の協力体制の醸成を促すと共に、満足感の得られる会費運用を実施する。 2 部活動を通し、垣根を越えた学生間の交流を図る。趣味の共有による活動の拡大を奨励する。 3 ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて行く。	全員参加によるスポーツ祭と三心祭の完遂。 全員が参加できる競技、出し物の検討と実施を促す。全員が恩恵に預かれる費用分配。 年間を通し、無理のない部活動の支援を実施。 新規登録の申請があれば、学校としても積極的に支援。 校則、寮則などの重大違反なし。 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を低減(昨年実績以下に)。 卒業までに余裕を持って必須資格を全員が取得していること。
		2	学生の資格取得の推進	1 コース毎最低限の到達目標である必須資格の確実な取得。 2 学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格(Bランク以上)への挑戦を促す。	特進クラスメンバーを中心に挑戦させる。
学務部	⑤学生支援	1	コース、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	1 校内での会社説明会の招致拡大。(新規実施企業の開拓・企業との信頼関係強化) 2 セイコーエプソン人事部との連携によりエプソンファンを増やす。併せてより早い段階から学生の就活意識を高める。 3 「自己分析」「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。就活力をアップさせるのための授業、イベントの実施。企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	就職内定率95%以上の継続。 順調な就職活動のため、周囲の状況なども勘案し、臨機応変に可能な限りの施策を講じる。
	④学修成果	2	学生の資格取得の推進	1 「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知 2 ガイダンス参加の拡大	募集者数の向上 イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上
就職指導部	④学修成果 ⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	1 校内での会社説明会の招致拡大。(新規実施企業の開拓・企業との信頼関係強化) 2 セイコーエプソン人事部との連携によりエプソンファンを増やす。併せてより早い段階から学生の就活意識を高める。 3 「自己分析」「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。就活力をアップさせるのための授業、イベントの実施。企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	就職内定率95%以上の継続。 順調な就職活動のため、周囲の状況なども勘案し、臨機応変に可能な限りの施策を講じる。
		1	募集者数の拡大	1 「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知 2 ガイダンス参加の拡大	募集者数の向上 イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上
入 タ 試 し セ ン	⑦学生の受け入れ状況	1	募集者数の拡大	1 「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知 2 ガイダンス参加の拡大	募集者数の向上 イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上
事 務 局	⑧財務	1	経費削減・業務の効率化の強化	1 さらなる業務の効率化と経費削減	昨年度以上
		2	会計監査への対応	2 新学校会計制度に対応	問題を発生させない。